

再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：川崎 茂信

事業名	一般国道163号 <small>きづがわ</small> 木津東バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局
起終点	自：京都府木津川市木津天神山 至：京都府木津川市木津馬場南	延長	0.6km		
事業概要					
<p>一般国道163号は、大阪府大阪市を起点に奈良県北部、京都府南部を横断し、三重県津市に至る主要幹線道路である。</p> <p>木津東バイパスは、都市計画道路天神山線の一部として東中央線と共に一般国道163号のバイパス機能を果たし、木津川市の国道24号、163号の重複区間における慢性的な地域の交通混雑の緩和や関西文化学術研究都市「木津中央地区」の開発、地域のまちづくり支援を目的として計画された道路である。</p>					
H23年度事業化	S56年度都市計画決定 (S63年度、H7年度変更)	H24年度用地着手	H-年度工事着手		
全体事業費	約33億円	事業進捗率	13%	供用済延長	—
計画交通量	11,400台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	2.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 25/32億円 事業費：22/28億円 維持管理費：3.1/3.1億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 86/86億円 走行時間短縮便益：77/77億円 走行経費減少便益：8.5/8.5億円 交通事故減少便益：0.8/0.8億円	基準年 平成27年
	(残事業)	3.4			
感度分析の結果					
<p>【事業全体】交通量：B/C=2.2~3.4(交通量±10%) 【残事業】交通量：B/C=2.8~4.2(交通量±10%)</p> <p>事業費：B/C=2.5~2.9(事業費±10%) 事業費：B/C=3.1~3.7(事業費±10%)</p> <p>事業期間：B/C=2.7~2.7(事業期間±20%) 事業期間：B/C=3.4~3.4(事業期間±20%)</p>					
事業の効果等					
<p>①交通混雑の緩和</p> <p>・木津川市の中心市街地を通過する一般国道24号・163号の重複区間では、交通容量を約2割超過しており、木津東バイパスの整備により重複区間の交通分散、交通円滑化が期待される。</p> <p>②交通安全の向上</p> <p>・一般国道24号・163号の重複区間では、京都府下の事故危険区間に指定されており、死傷事故率が京都府全域の約2倍、渋滞が一因である追突事故の発生率は京都府全域の約3倍となっており、重複区間の渋滞緩和を図ることにより交通事故の減少が期待される。</p> <p>③まちづくり支援</p> <p>・木津東バイパスは、木津中央地区「城山台」と木津川市の中心市街地を直接結ぶアクセス道路として機能し、木津中央地区「城山台」の開発と一体となったまちづくりを支援する。</p>					
関係する地方公共団体等の意見					
<p>地域から頂いた主な意見等：</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年12月、京都府より早期完成の要望を受けている。 平成27年10月、一般国道163号整備促進期成同盟会（木津川市長、生駒市長、四条畷市長、精華町長より構成）より早期完成の要望を受けている。 平成27年10月、国道163号整備促進協議会（木津川市長、笠置町長、和束町長、精華町長、南山城村長より構成）より早期完成の要望を受けている。 <p>京都府知事の意見：</p> <p>一般国道163号木津東バイパス事業は、交通混雑の緩和、交通事故対策、さらには、まちづくりの支援が期待されていることから、対応方針(原案)のとおり、引き続き事業を推進し、早期の完成とともに一層のコスト縮減に努められたい。</p>					
事業評価監視委員会の意見					
<p>審議の結果、「国道163号木津東バイパス」の再評価は、事業評価監視委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針(原案)のとおり継続でよいと判断される。</p>					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
沿線の木津川市では、人口や自動車保有台数は増加傾向。					

